

# 暮らしの瓦版

2018年  
10月号

(通算第240号)

## ～ 10月《神無月 かなづき》～

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1日 法の日・土地の日 | 14日 鉄道の日    |
| 2日 豆腐の日     | 17日 貯蓄の日    |
| 4日 都市景観の日   | 23日 電信電話記念日 |
| 8日 体育の日     | 27日 読書の日    |
| 10日 目の愛護デー  | 31日 ハロウィーン  |



## 紅葉狩り

多くの地域は、10月から11月に紅葉の時期を迎えます。この時期に「紅葉(もみじ)狩り」といふ言葉をよく耳にすると、思いますが、なぜ紅葉狩りなのかご存知でしょうか？

紅葉狩りの「狩り」には、狩猟や果物の収穫(イチゴ狩りなど)の意味のほか、「(自然の中で)草花を眺めること」という意味もあるのだそうです。紅葉狩りの「狩り」は、後者の意味を持っているわけですね。

富岡周辺地域では、特に妙義山が紅葉の名所として知られています。

群馬県内では、北部の県境一帯と、赤城山、榛名山、少林山、伊香

保などが有名です。秋

の息吹を感じるために、

ぜひ紅葉狩りに行って

みてください。



## 非常時のランタン

大雨や台風による被害や、地震による被害が各地で発生しています。非常時のために懐中電灯を用意している人は多いと思いますが、夜に食事等をする時などは、一方向に光る懐中電灯よりも、拡散した光を放つランタンのような光の方が便利です。

そんなときは、空のペットボトルに水を入れ、その下から懐中電灯で照らすようにしてみてください。ほどよい感じで光が拡散して周りを照らしてくれます。

懐中電灯が倒れないようにコップに入れたり、支え等で固定したりと工夫してください。ペットボトルのデザインによっ

てどんな光の拡散

状態になるのか

を、いろいろテス

トしてみるのもよ

いかと思います。



## 曾木の由来

旧富岡町は富岡、七日市、曾木に分かれています。和名抄には宗伎(そぎ)郷とあり、上野国神名帳にある宗伎明神とは、曾木神社のことと考えられます。また、この神社がある所を牛王土(ごおうど)と言いますが、修験に関係があるのかもありません。この神社は高垣明神ともい、境内の池はどんな日照りでも涸れないといえます。

なお、「ソギは粉(そぎ)こてし」とも訓す。粉は火の出る木といい、火鑽臼(ひきりうす)、火鑽臼杵を作ることアイ又の風俗にあるを思へば、火に関係ある神徳を崇め祀りしにはあらざるか」と考古学者の岩沢正作氏は言っています。曾木は、火の神様に関係する地域みたいです。ね。

## 鉄道の日

明治5年9月12日(新暦1872年10月14日)に、新橋駅(後の汐留貨物駅、現在廃止)と横浜駅(現在の根岸線桜木町駅)とを結んだ日本初の鉄道が開業しました。また、1921年(大正10年)の同日に鉄道開業50周年を記念して東京駅の丸の内北口に鉄道博物館(初代)が開館しました。翌1922年から、10月14日が「鉄道記念日」となりました。1994年に運輸省(現・国土交通省)が「鉄道の日」と改称し、すべての鉄道事業者が祝う記念日となりました。

第1回の鉄道の日には、当時102歳の双子の長寿姉妹の成田きんさん・蟹江きんさんが一日東京駅長を務め、上越新幹線「Maxあさひ309号」の出発指し合図を行いました。

## オリンピック

オリンピックは1896年にアテネで第一回目の夏季オリンピックが開催されました。(冬季オリンピックの第一回は1924年にシャモニー・モンブランにて開催されました。)

第一回目の夏季オリンピックでは男子しか参加することができず、9競技43種目しかありませんでした。(女子は第二回目のオリンピックから参加しました。)

2020年の東京オリンピックでは33競技339種目もの競技があります。前回2016年のリオオリンピックでは28競技306種目でした。競技と種目数が年々増えていることがわかります。ということは、メダル獲得の可能性も上がるので、東京オリンピックは期待できますね。せっかく東京でオリンピックが開催されるのですから、できれば実際に見てみたいものですね。

## ブログ記事ご紹介

◎先日、基礎補修工事が完了しました。基礎にヒビが入っているのをどうにかしたいとのご相談を受け、補修させていただきました。ヒビが入ってしまった所はきれいに剥がし、モルタル補修した後、特殊ポリマーで塗装させていただきました、とってもきれいになりました。

リフォーム部 越田裕紀



(8月25日掲載記事)

## ハツラツ委員会から

ハツラツ委員会は、社員が明るく元気よく仕事できる環境を作ることにより、社内が活性化することを目的としています。毎朝のラジオ体操では率先してリーダーとなり、毎週月曜日の朝は、出社してくる社員に対して元気よく声かけしたりしています。

リーダー 伊藤慶礎



### 漢字読めますか？

次の漢字を読んでみてください。

- |      |      |
|------|------|
| ① 築山 | ② 安閑 |
| ③ 産着 | ④ 懐柔 |
| ⑤ 転嫁 | ⑥ 毆打 |
| ⑦ 稚拙 | ⑧ 涉獵 |

## 手締めについて

式典やパーティーなどの最後は、きまつて手締めが行われます。「三・三・三・三・一」のリズムで手を打つのが一本締め、それを三回繰り返すのが三本締めです。

手締めは、もめ事を和解させる「手打ち」に由来するといわれています。物騒な刃物などを持つていないことを示すためにパンと手を打ち両手を広げて見せたことから、仲間として打ち解けたいときや、結束を高めたいときに手締めの儀式が行われるようになったようです。「三・三・三・三・一」のリズムは、「三」を三つ重ねると「九」となり、それにもう一回手(点)を打つと「九」が「丸」となるので「すべてを丸くおさめましょう」という意味になるのだとか。

三本締めが三回の繰り返し構成となる理由は、舞台挨拶の三方礼(右・左・中央に礼をする)と同じで、その場の皆さんに謝意を示すためと言われています。ちなみに、手締めの前の「よおう」という掛け声は「祝おう」が転じたものだといわれています。

## スリッパは日本生まれ!!

スリッパは、なんと日本生まれだったのです。明治時代に靴の仕立て職人だった徳野利三郎という人が発明したものだそうです。当時、開国したばかりの日本には、多くの外国人がやってきましたが、西洋の習慣上、彼らが土足で部屋に上がるため、旅館では悲鳴を上げていたそうです。

それを見た利三郎が、現在のスリッパの原型を考えだしました。なお、その語源は、西洋でパンプスやミュールを指す「スリッパ」に由来するともいわれています。

## 暮らしの雑学・豆知識



### ～ 秋ナスは嫁に……～

よく「秋ナスは嫁に食わずな」と言われますが、この理由については諸説あります。まずは「ナスの旬は夏から秋にかけて。おいしいナスを嫁にたべさせるのはもったいない」という（お姑さんの立場の）もの。また「秋のナスは体を冷やすため、あととりを生んでくれる嫁の体を気遣って食べさせない」というもの。

また、人々はネズミの食害に苦しんできました。昔はネズミが大黒様の使いとされ、人間の言葉を理解できると考えられていました。そこで、ネズミのご機嫌を損ねないように、「嫁御（よめご）」とか「嫁さま」などと呼ぶ風習がありました。つまり「ナスをネズミに食べられないように」という説もあるのです。

## レンズの曇り

メガネをかけてラーメンを食べると、レンズが曇りますが、「コンタクトレンズは曇りません。なぜでしょうか？ 一番の大きな理由は、レンズ全体が乾いているか濡れているか、ということなんです。レンズが曇るのは、湯気によりレンズの表面に細かい点状の結露が起こるからです。コンタクトレンズでは、常に涙で潤いのある状態になっているので、曇らないというわけです。

## 漢字読めますか？ 解答

- ① 築山（つきやま）
  - ・ 山をかたどって土や石を盛り上げた所。
- ② 安閑（あんかん）
  - ・ のんきに構えている事。
- ③ 産着（うぶぎ）
  - ・ 生まれた子に初めて着せる着物。
- ④ 懐柔（かいじゅう）
  - ・ 巧みに手なづけて抱き込む事。
- ⑤ 転嫁（てんか）
  - ・ 罪や責任を他人になすりつける事。
- ⑥ 毆打（おうだ）
  - ・ なぐる事。
- ⑦ 稚拙（ちせつ）
  - ・ 子供じみて下手な事。
- ⑧ 涉獵（しやうりよう）
  - ・ 広く探し歩く事。多くの書物を読み漁る事。



〈発行〉 次回発行予定 10/27(土)

住まいの事なら  
何でもご相談ください!



**株式会社大五建設**

住所 富岡市上小林216-2

0120-388-406 (通話料無料)

「大五建設ブログ」  
過去の「暮らしの瓦版」は

大五建設のホームページ  
からご覧いただけます。

大五建設 で